

令和3年度

教育委員会の事務の管理及び
執行状況に係る点検・評価報告書

釜石市教育委員会

目 次

I	はじめに	1
	(参考)第六次釜石市総合計画※抜粋	2
II	教育委員会の活動	3
1	教育委員会議	
2	総合教育会議	
3	会議以外の主な活動	
III	教育委員会の事務の管理及び執行状況に係る点検・評価の結果	4
1	点検・評価の基準	
2	点検・評価の体系	
3	点検・評価の結果	
	基本施策 1 未来を担う子どもたちの育成	
	実施施策 (1)生きる力を育む学校教育の充実	5
	基本施策 2 子どもを育む環境づくり	
	実施施策 (1)地域づくりに寄与する特色ある教育活動の推進	9
	(2)教育環境の充実とさらなる向上	16
	基本施策 3 生涯学習・スポーツの振興	
	実施施策 (1)学びと実践が循環しつながりを創出する生涯学習社会の形成	28
	基本施策 4 歴史・文化・芸術文化の振興	
	実施施策 (1)歴史・文化の継承と文化財の普及・啓発の推進	36
	(2)橋野鉄鉱山の保存・整備・活用と鉄の歴史・文化の発信	40
	「令和3年度教育委員会の事務の管理及び執行状況に係る点検・評価報告書」有識者からの意見聴取会意見(要点)	42

I はじめに

- この報告書は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律(昭和 31 年法律第 162 号)第 26 条に基づき、令和 3 年度の教育委員会の管理及び執行の状況に係る点検及び評価結果を取りまとめたものです。
点検及び評価に当たっては、令和 3 年 3 月策定の「第六次釜石市総合計画」の基本目標 4「地域と人のつながり中でみんなが育つまち」の施策の体系に基づいて整理しました。
- 事業は、教育委員会の事務及び市長部局が補助執行している教育委員会の事業（釜石市教育委員会の権限に属する事務の補助執行に関する規則（平成 29 年釜石市教育委員会規則第 2 号）第 2 条）を範囲とし、「第六次釜石市総合計画」の実施計画に掲載された事業、令和 3 年度における主要事業を対象としました。
- 評価は、担当課において対象事業の自己評価を行い、その評価の内容、妥当性等について学識経験者の知見の活用を図り二次評価しました。

釜石市教育委員会委員名簿

委 員	鈴 木 勝
委 員	福 成 菜穂子
委 員	花 輪 妙 子
委 員	佐 野 茂 樹
教 育 長	高 橋 勝

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）

第 26 条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第 1 項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第 4 項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

(参考)「第六次釜石市総合計画」※抜粋

【目指す釜石の将来像】
一人ひとりが学びあい
世界とつながり未来を創るまちかまいし
～多様性を認めあいながらトライし続ける不屈のまち～

◎ 5つの基本目標 (点検・評価の対象：基本目標4)

基本目標1：〔保健福祉〕あらゆる人の幸せをみんなで考えつくるまち

基本目標2：〔生活環境〕人と自然が共存し安心して暮らせるまち

基本目標3：〔産業雇用〕未来をつくる人と産業が育つまち

基本目標4：〔教育文化〕地域と人のつながりの中でみんなが育つまち

※抜粋

— 《未来を担う子どもたちの育成》

(実施施策) ○生きる力を育む学校教育の充実

— 《子どもを育む環境づくり》

(実施施策) ○地域づくりに寄与する特色ある教育活動の推進

○教育環境の充実とさらなる向上

— 《生涯学習・スポーツの振興》

(実施施策) ○学びと実践が循環しつながりを創出する生涯学習社会の形成

— 《歴史・文化・芸術文化の振興》

(実施施策) ○歴史・文化の継承と文化財の普及・啓発の推進

○橋野鉄鉦山の保存・整備・活用と鉄の歴史・文化の発信

基本目標5：〔危機対応〕過去に学びみんなが命を守れるまち

II 教育委員会の活動

教育委員会では、教育行政の執行にあたり、5人の委員で構成される合議制の教育委員会議定例会を毎月開催するとともに、必要に応じて教育委員会議臨時会を開催し、基本方針の決定や各種議案を審議し、教育行政の適正な運営に努めました。

また、市長と教育委員会が教育の課題や方向性を共有して、連携を深めながら教育施策の協議、調整を行う場として、総合教育会議を年2回開催しています。

会議以外の活動としては、教育長及び教育委員による学校訪問を行うとともに、学校の各種行事に参加することで、学校現場や教育環境等の状況把握に努めています。

1 教育委員会議（開催数）

定例会	12回
臨時会	2回
合計	14回

2 総合教育会議

第1回（令和3年10月28日）

【協議内容】

- ・当市のコミュニティ・スクールの構想について
- ・学校における地域連携の現状とコミュニティ・スクールに期待する効果について
- ・今後のコミュニティ・スクールを活用した地域づくりについて

第2回（令和4年2月9日）

【協議内容】

- ・当市におけるICT教育の環境整備状況について
- ・GIGAスクール構想によるICT教育の現状と課題、今後の取組みについて

3 会議以外の主な活動

(1) 学校訪問

上中島こども園及び鶴住居小学校（令和3年7月8日）
唐丹小学校（令和3年7月14日）

(2) 学校公開研究会

釜石中学校（令和3年11月5日）
平田小学校（令和3年11月11日）

(3) 入学（園）式及び卒業（園）式

市内各小中学校（幼稚園）（4月及び3月）

Ⅲ 教育委員会の事務の管理及び執行状況に係る点検・評価の結果

1 点検・評価の基準

評価	取組内容（結果）
A	計画を達成し、目標の100%以上の成果となった。
B	計画を概ね達成し、目標の80%以上の成果となった。
C	計画の遅れにより、目標の80%未満の成果となった。
D	計画の大幅な遅れにより、目標の60%未満の成果となった。

2 点検・評価の体系

個別事業の点検・評価は、「第六次釜石市総合計画」の基本目標4「地域と人のつながりの中でみんなが育つまち」の施策の体系の基づき、次の区分により整理しました。

基本施策1 未来を担う子どもたちの育成

【実施施策】 (1) 生きる力を育む学校教育の充実

基本施策2 子どもを育む環境づくり

【実施施策】 (1) 地域づくりに寄与する特色ある教育活動の推進
(2) 教育環境の充実とさらなる向上

基本施策3 生涯学習・スポーツの振興

【実施施策】 (1) 学びと実践が循環しつながりを創出する生涯学習社会の形成

基本施策4 歴史・文化・芸術文化の振興

【実施施策】 (1) 歴史・文化の継承と文化財の普及・啓発の推進
(2) 橋野鉄鉾山の保存・整備・活用と鉄の歴史・文化の発信

3 点検・評価の結果

基本施策 1 未来を担う子どもたちの育成

実施施策 (1) 生きる力を育む学校教育の充実

事業名	釜石市学校文化体育振興会運営事業費 補助金	令和3年度 決算額	600,000円
担当課	教育委員会事務局学校教育課		
目的	児童生徒の健康増進及び文化体育の向上を図るもの。		
内容	<p>児童生徒の健康増進及び文化体育に関する事業を行う釜石市学校文化体育振興会に補助金を交付した。</p> <p><補助金の用途></p> <ul style="list-style-type: none"> ○小学校 <ul style="list-style-type: none"> ・日清カップ小学生陸上交流大会等のスポーツ大会参加費補助 ・科学研究県大会等の文化的大会参加費補助 ○中学校 <ul style="list-style-type: none"> ・県中学校総合体育大会、東北大会、県新人大会等の中体連主催大会参加費補助 ・岩手全日本吹奏楽コンクール、県アンサンブルコンテスト等の大会参加費補助 		
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・市内小中学生が参加する各種大会参加費の補助を実施し、児童生徒の健康増進及び文化体育の向上が図られた。 ・中学校の部活動において、生徒数の減少等により、学校を超えて合同で部活動を実施する種目が増え、移動時等における保護者等の負担が増えていることは課題である。 ・令和4年度から、合同部活動の移動費を補助する目的で補助金を増額したが、用途が限定されていることで補助金の活用が難しいとの相談を同学校文化体育振興会事務局から受けており、令和4年度の実績の確認後、金額及び用途について再検討する必要がある。 		
評価	B	事業の継続性	<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 継続（現状維持・拡充）

事業名	ICT 支援員配置事業	令和 3 年度 決算額	2,952,153 円
担当課	教育委員会事務局学校教育課		
目的	急速に進む学校の ICT 化による学校現場の負担を軽減し、児童生徒の学びのために ICT 環境のさらなる有効活用を図るもの。		
内容	<p>専門的な知見を有する ICT 支援員を配置し、研修会や授業支援を実施することで教員の ICT 活用をサポートした。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・配置人数 1 名、月 96 時間 ・ICT 研修（集合型研修会）の実施（教育センター）2 回 ・派遣型研修会の実施（市内全小中学校）14 回 ・Microsoft Teams を活用した相談・支援・情報共有体制の確立 ・教職員からの質問、サポート依頼への対応 		
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・GIGA スクール構想の本格始動に合わせて ICT 支援員を配置したことで、劇的な ICT 環境の変化に伴う教職員の負担を軽減し、各小中学校に置いて 1 人 1 台端末等の活用が開始された。 ・ICT 環境をより有効に活用するため、ICT を苦手とする教職員への支援を実施して底上げが図られた。 ・ICT 支援員が学校現場を支援し、トラブルを解決することで、教職員や児童生徒が安心して ICT 環境を活用することができた。 ・教職員のニーズに応じたサポートを今後も実施していく必要がある。 ・学校からの軽微な問い合わせや単発的な研修会の対応が増えているため、学校のニーズを再確認して、今後の支援策を検討する必要がある。 		
評価	B	事業の継続性	<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 継続（現状維持・拡充）

事業名	ICT 活用教育推進事業	令和 3 年度 決算額	30,099,960 円
担当課	教育委員会事務局学校教育課		
目的	ICT の活用により小中学生の主体的な学びを促し、確かな学力の育成を図るため、必要な環境を充実・整備するもの。		

内 容	<p>従来の ICT 環境に加え、GIGA スクール構想により整備された児童生徒 1 人 1 台端末を小中学校が有効に活用できるよう、ICT 支援員と連携して環境整備及び支援を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ICT 機器及び周辺機器賃借料 ・ 授業支援ソフト及びプログラミング教材賃借料 ・ ICT 研修（集合型研修会）の実施（教育センター）2 回 ※再掲 ・ 派遣型研修会の実施（市内全小中学校）14 回 ※再掲 ・ 市内小中学校からの問い合わせ対応、必要に応じて学校訪問 ・ 市内小中学校の活用事例を集約し、併せて市内全校に共有 ・ 不登校の生徒のオンライン授業等、一部の学校にてタブレット端末の持ち帰り学習を開始 		
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ GIGA スクール構想の本格始動初年度となったが、研修会や情報共有等を実施したことで、各校での活用を支援できた。 ・ 各校においてタブレット端末の活用が開始され、Microsoft Teams を活用した意見等の共有、ドリルソフトを活用した個別学習等が実施され、児童生徒の主体的な学びや確かな学力の育成に繋がる新たな機会を創出できた。 ・ 学校や教員によって ICT の活用頻度に差があり、より有効に活用できるよう必要な支援を継続する必要がある。 ・ ICT 環境をより有効に活用するため、ICT を苦手とする教員への支援を実施して底上げを図ると共に、教員のニーズに応じたソフトウェアの整備等について検討する。 		
評 価	B	事業の継続性	<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（現状維持・拡充）

事業名	要保護・準要保護児童援助費（小学校）	令和 3 年度 決算額	13,059,969 円
担当課	教育委員会事務局学校教育課		
目 的	<p>経済的理由で就学困難な小学生の保護者に対し、必要な援助を行い、義務教育の円滑な実施を図るもの。</p>		

内 容	<p>学用品費、修学旅行費、学校給食費等の援助を行った。</p> <p>要保護：6人 準要保護：437人</p> <p>準要保護（小学校入学前学用品費支給者）：41人</p> <p>学校給食費援助人数：431人</p> <p>※準要保護人数と給食費援助人数の差異は不登校等の影響による</p>		
成果・課題	<p>経済的理由で就学困難な小学生の保護者に対し必要な援助を行った。</p> <p>被災児童生徒就学援助事業費補助金（県補助金）がいつまで続くのか分からない状況であり、一般財源のみとなった場合、現在の認定基準（生保基準×1.3倍未満）のまま維持できるのかが課題である。</p>		
評 価	B	事業の継続性	<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（現状維持・拡充）

事業名	要保護・準要保護生徒援助費（中学校）	令和3年度 決算額	13,743,633円
担当課	教育委員会事務局学校教育課		
目 的	<p>経済的理由で就学困難な中学生の保護者に対し、必要な援助を行い、義務教育の円滑な実施を図るもの。</p>		
内 容	<p>学用品費、修学旅行費、学校給食費等の援助を行った。</p> <p>・要保護：1人 準要保護：237人</p> <p>・学校給食費援助人数：235人</p> <p>※準要保護人数と給食費援助人数の差異は不登校等の影響による</p>		
成果・課題	<p>経済的理由で就学困難な中学生の保護者に対し必要な援助を行った。</p> <p>被災児童生徒就学援助事業費補助金（県補助金）がいつまで続くのか分からない状況であり、一般財源のみとなった場合、現在の認定基準（生保基準×1.3倍未満）のまま維持できるのかが課題である。</p>		
評 価	B	事業の継続性	<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（現状維持・拡充）

基本施策2 子どもを育む環境づくり

実施施策

(1) 地域づくりに寄与する特色ある教育活動の推進

事業名	教育広報発行事業	令和3年度 決算額	223,300円
担当課	教育委員会事務局総務課		
目的	教育行政について広く市民に周知するもの。		
内容	<p>「教育広報かまいし」(A4版・4ページ・4色カラー刷)を年2回(11・3月)発行し全世帯に配付した。</p> <p>【主な掲載記事】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・かまいしコミュニティ・スクールの推進～「学校」と「地域」がともに元気に！～ ・かまいし絆会議～未来への第1歩～ ・こどもたちの学びを保障するために～GIGAスクール構想の推進～ ・学校給食を活用した食育の取組 ・学校規模適正化検討委員会の開催結果 ・教育委員の就任 ・教育行政方針演述 ・釜石市教育研究所研究発表大会 ・「献立募集入賞作品決定」入賞作品決定 		
成果・課題	<p>教育広報発行により教育委員会の取組が市民に周知されている。</p> <p>市民が、教育行政に対し関心を抱き理解を深めるような紙面とするため、読みやすさの向上に努めるとともに、教育委員会の新規の施策や事業、これまで未掲載の記事も検討の上、積極的に情報発信していく。</p>		
評価	B	事業の継続性	<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 継続(現状維持・拡充)

事業名	かまいし絆会議運営事業	令和3年度 決算額	397,961円
担当課	教育委員会事務局学校教育課		

目 的	市内の小中学生一人ひとりが、将来の釜石市をつくるリーダーになれる力を身に付けるもの。		
内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・かまいし絆会議の開催（8/5、12/27） 釜石市民ホール TETTO ホール B を会場に、各小中学校児童生徒 28 名（各校 2 名）、各小中学校引率教員 14 名（各校 1 名）が参加、8/5 については、かまいし未来づくりプロジェクト 22 名（オンライン参加含む）、岩手県立釜石高校 SSH 地域ゼミメンバー5 名も参加し、「絆の日」の取組や地域のための活動などについて話し合った。 ・中学校専門部会の開催（7/20、12/7） 各中学校 3 年生代表 2 名ならびに担当する教員 1 名が参加し、かまいし絆会議の本会議に向けて、「絆の日」の取組についてのアイディアなどを話し合った。 ・かまいし絆会議展示会 2021 地域に元気を届ける活動としてメッセージ展を開催した。 ・かまいし絆会議通信の発行（各学校） 		
成果・課題	釜石市小中学生による「かまいし絆会議」が、自分たちの生活や地域のことに関心を持ち、自分たちができることを考える場として機能した。釜石市内の小中学生全員で活動を行うことで、地域に貢献しようとする意識が高まった。今後も、「かまいし絆会議」を児童生徒のリーダーの育成の場並びに主体的な活動につなげる場として活用していく。		
評 価	B	事業の継続性	<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（現状維持・拡充）

事業名	「総合的な学習の時間」推進事業	令和 3 年度 決算額	1,024,404 円
担当課	教育委員会事務局学校教育課		
目 的	「総合的な学習の時間」を、学校及び地域の特色を生かした創意ある学習の時間を目指して実施し、教育の充実を図るもの。		

内 容	<p>「総合的な学習の時間」に係る経費の負担（報償費・需用費・役務費・使用料及び賃借料）</p> <p>【実施校】 小学校 9 校、中学校 5 校</p> <p>【事業実践例】</p>		
	学校名	活動内容	
	釜石小学校	農業体験学習・郷土料理学習	
	双葉小学校	郷土の歴史・釜石の自然について	
	白山小学校	田植え・稲刈り	
	平田小学校	防災学習	
	小佐野小学校	しし踊り・国際理解学習	
	甲子小学校	情報学習・さつまいも栽培	
	鶴住居小学校	防災学習・ボランティア活動	
	栗林小学校	植樹活動・そば作り	
	唐丹小学校	鮭の稚魚放流・鉄の学習	
	釜石中学校	防災学習・進路学習	
	甲子中学校	鉄の学習・進路学習	
	釜石東中学校	防災学習・鉄の学習	
	唐丹中学校	キャリア教育・防災学習	
大平中学校	福祉学習・防災学習		
成果・課題	各学校が特色を生かした創意ある学習を実施することができた。		
評 価	B	事業の継続性	<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（現状維持・拡充）

事業名	かまいしコミュニティスクール推進事業	令和 3 年度 決算額	2,100,000 円
担当課	教育委員会事務局学校教育課		

<p>目 的</p>	<p>市内小中学校において地域に元気を与えるような活動、当市の風土、伝統及び有形無形の財産を活用して郷土理解を深め郷土への誇りと愛着を育む、地域と協同により取り組む活動に要する経費に対し、交付金を交付するもの。</p>																														
<p>内 容</p>	<p>市内小中学校 14 校に対し、各校 15 万円交付した。</p> <p>【事業内容】</p> <table border="1" data-bbox="467 539 1382 1901"> <thead> <tr> <th data-bbox="467 539 651 591">学校名</th> <th data-bbox="651 539 1382 591">活動内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="467 591 651 680">釜石小学校</td> <td data-bbox="651 591 1382 680">伝統芸能の継承活動、鉄づくり体験、農業・水産業等の体験活動</td> </tr> <tr> <td data-bbox="467 680 651 732">双葉小学校</td> <td data-bbox="651 680 1382 732">双葉小学校手づくりカレンダーの作成及び地域への配布</td> </tr> <tr> <td data-bbox="467 732 651 822">白山小学校</td> <td data-bbox="651 732 1382 822">花壇整備活動、白山水田学習、高齢者訪問（花のプレゼント）</td> </tr> <tr> <td data-bbox="467 822 651 873">平田小学校</td> <td data-bbox="651 822 1382 873">学習発表会、プログラミング学習</td> </tr> <tr> <td data-bbox="467 873 651 963">小佐野小学校</td> <td data-bbox="651 873 1382 963">校報の発行及び地域への配布、伝承活動「小川しし踊り」の実施</td> </tr> <tr> <td data-bbox="467 963 651 1052">甲子小学校</td> <td data-bbox="651 963 1382 1052">交通安全少年団活動、少年少女防災クラブ活動、お年寄り訪問活動、郷土の偉人や産業についての学習（施設見学）</td> </tr> <tr> <td data-bbox="467 1052 651 1142">鵜住居小学校</td> <td data-bbox="651 1052 1382 1142">防災だよりの発行、伝統芸能「鵜住居虎舞」の継承活動、学級園活動、鉄の学習、ものづくり体験</td> </tr> <tr> <td data-bbox="467 1142 651 1232">栗林小学校</td> <td data-bbox="651 1142 1382 1232">伝統芸能の継承活動、自然学習、農園活動、そば作り活動、鉄の学習</td> </tr> <tr> <td data-bbox="467 1232 651 1350">唐丹小学校</td> <td data-bbox="651 1232 1382 1350">郷土学習（「鮭の稚魚放流」「鮭の郷土料理教室」「水生環境調査」）、花壇づくり、小中合同国道清掃、環境美化活動</td> </tr> <tr> <td data-bbox="467 1350 651 1440">釜石中学校</td> <td data-bbox="651 1350 1382 1440">地域の実情に合わせた防災教育、安全啓発活動（「地域の安全マップ」の改訂及び配布）</td> </tr> <tr> <td data-bbox="467 1440 651 1529">甲子中学校</td> <td data-bbox="651 1440 1382 1529">特設ラグビー部の活動（講習会及び練習会等）、鉄の学習、合唱活動の充実</td> </tr> <tr> <td data-bbox="467 1529 651 1581">釜石東中学校</td> <td data-bbox="651 1529 1382 1581">鉄づくり体験、漁業体験、防災学習、避難誘導看板製作</td> </tr> <tr> <td data-bbox="467 1581 651 1702">唐丹中学校</td> <td data-bbox="651 1581 1382 1702">郷土学習（「大石虎舞」）、小中合同運動会、環境美化活動、地域産業学習（「海と希望の学校」及び水産加工場見学）</td> </tr> <tr> <td data-bbox="467 1702 651 1901">大平中学校</td> <td data-bbox="651 1702 1382 1901">福祉学習（大平公園清掃、認知症サポーター養成講座、高齢者疑似体験、介護実技学習、価値観学習、高齢者との交流活動（ビデオによる交流）） 防災学習（救命救急講習、避難所設置実習、防災ワークショップ、炊き出し訓練）</td> </tr> </tbody> </table>	学校名	活動内容	釜石小学校	伝統芸能の継承活動、鉄づくり体験、農業・水産業等の体験活動	双葉小学校	双葉小学校手づくりカレンダーの作成及び地域への配布	白山小学校	花壇整備活動、白山水田学習、高齢者訪問（花のプレゼント）	平田小学校	学習発表会、プログラミング学習	小佐野小学校	校報の発行及び地域への配布、伝承活動「小川しし踊り」の実施	甲子小学校	交通安全少年団活動、少年少女防災クラブ活動、お年寄り訪問活動、郷土の偉人や産業についての学習（施設見学）	鵜住居小学校	防災だよりの発行、伝統芸能「鵜住居虎舞」の継承活動、学級園活動、鉄の学習、ものづくり体験	栗林小学校	伝統芸能の継承活動、自然学習、農園活動、そば作り活動、鉄の学習	唐丹小学校	郷土学習（「鮭の稚魚放流」「鮭の郷土料理教室」「水生環境調査」）、花壇づくり、小中合同国道清掃、環境美化活動	釜石中学校	地域の実情に合わせた防災教育、安全啓発活動（「地域の安全マップ」の改訂及び配布）	甲子中学校	特設ラグビー部の活動（講習会及び練習会等）、鉄の学習、合唱活動の充実	釜石東中学校	鉄づくり体験、漁業体験、防災学習、避難誘導看板製作	唐丹中学校	郷土学習（「大石虎舞」）、小中合同運動会、環境美化活動、地域産業学習（「海と希望の学校」及び水産加工場見学）	大平中学校	福祉学習（大平公園清掃、認知症サポーター養成講座、高齢者疑似体験、介護実技学習、価値観学習、高齢者との交流活動（ビデオによる交流）） 防災学習（救命救急講習、避難所設置実習、防災ワークショップ、炊き出し訓練）
学校名	活動内容																														
釜石小学校	伝統芸能の継承活動、鉄づくり体験、農業・水産業等の体験活動																														
双葉小学校	双葉小学校手づくりカレンダーの作成及び地域への配布																														
白山小学校	花壇整備活動、白山水田学習、高齢者訪問（花のプレゼント）																														
平田小学校	学習発表会、プログラミング学習																														
小佐野小学校	校報の発行及び地域への配布、伝承活動「小川しし踊り」の実施																														
甲子小学校	交通安全少年団活動、少年少女防災クラブ活動、お年寄り訪問活動、郷土の偉人や産業についての学習（施設見学）																														
鵜住居小学校	防災だよりの発行、伝統芸能「鵜住居虎舞」の継承活動、学級園活動、鉄の学習、ものづくり体験																														
栗林小学校	伝統芸能の継承活動、自然学習、農園活動、そば作り活動、鉄の学習																														
唐丹小学校	郷土学習（「鮭の稚魚放流」「鮭の郷土料理教室」「水生環境調査」）、花壇づくり、小中合同国道清掃、環境美化活動																														
釜石中学校	地域の実情に合わせた防災教育、安全啓発活動（「地域の安全マップ」の改訂及び配布）																														
甲子中学校	特設ラグビー部の活動（講習会及び練習会等）、鉄の学習、合唱活動の充実																														
釜石東中学校	鉄づくり体験、漁業体験、防災学習、避難誘導看板製作																														
唐丹中学校	郷土学習（「大石虎舞」）、小中合同運動会、環境美化活動、地域産業学習（「海と希望の学校」及び水産加工場見学）																														
大平中学校	福祉学習（大平公園清掃、認知症サポーター養成講座、高齢者疑似体験、介護実技学習、価値観学習、高齢者との交流活動（ビデオによる交流）） 防災学習（救命救急講習、避難所設置実習、防災ワークショップ、炊き出し訓練）																														

成果・課題	各学校が「かまいしコミュニティスクール推進事業」を活用し、地域に元気を与えるような活動や郷土理解を深める学習を地域と協同で行うことができた。		
評価	B	事業の継続性	<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（現状維持・拡充）

事業名	友好都市中学生相互交流事業 (朝日町交流事業)	令和3年度 決算額	0円
担当課	教育委員会事務局学校教育課		
目的	朝日町との交流を通して互いの市の良さを学び合い、よりよい学校や地域づくりをしようとする意識の向上に資するもの。		
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・学校紹介 ・防災についての取組紹介 ・質疑応答 		
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ感染回避のため、オンラインでの交流となったが、互いの市の取組について交流し合う事で、生徒の意識の向上が見られた。 ・コロナ禍における交流方法について検討が必要である。 		
評価	B	事業の継続性	<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（現状維持・拡充）

事業名	学校給食センター運営費	令和3年度 決算額	246,249,199円
担当課	教育委員会事務局学校教育課 学校給食センター		

<p>目 的</p>	<p>安全安心な食材の確保、衛生管理に十分な注意をはらい、栄養バランスの良い安全でおいしい学校給食を提供するもの。</p> <p>児童生徒一人ひとりが正しい食事のあり方や望ましい食習慣を身に付け、食事を通して自らの健康管理ができるよう食育を推進するもの。</p>																														
<p>内 容</p>	<p>○地場産物の利用</p> <p>水産農林課、産直と情報共有を図り地場産物の確保利用につなげた。</p> <p>〈地場産食材使用状況〉</p> <table border="1" data-bbox="422 616 1380 761"> <thead> <tr> <th></th> <th>H29 年度</th> <th>H30 年度</th> <th>R 元年度</th> <th>R2 年度</th> <th>R3 年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>品目数</td> <td>7</td> <td>9</td> <td>10</td> <td>11</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>使用数量</td> <td>2,384 kg</td> <td>1,886 kg</td> <td>2,388 kg</td> <td>1,919 kg</td> <td>3,559 kg</td> </tr> </tbody> </table> <p>○食に関する指導</p> <p>栄養教諭による学校訪問指導（授業）を行った。</p> <p>〈指導実績〉</p> <table border="1" data-bbox="422 952 1380 1052"> <thead> <tr> <th></th> <th>H29 年度</th> <th>H30 年度</th> <th>R 元年度</th> <th>R2 年度</th> <th>R3 年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>実施回数</td> <td>58 回</td> <td>54 回</td> <td>48 回</td> <td>57 回</td> <td>56 回</td> </tr> </tbody> </table> <p>○アレルギー対応給食</p> <p>乳・卵アレルギーを有する児童生徒に対し、除去食・代替食の提供を行った。</p> <p>○献立募集</p> <p>小中学生を対象に「ぼくのわたしのおすすめ汁もの」をテーマに献立を募集した。</p> <p>応募数：小学校 48 作品（最優秀賞 1、優秀賞 4） 中学校 33 作品（最優秀賞 1、優秀賞 2）</p> <p>○リクエスト給食</p> <p>小 6、中 3 のアンケート結果により実施した。</p> <p>○学校給食残量調査</p> <p>1～2 学期間において副菜の残量調査を実施した。</p> <p>○防災給食</p> <p>防災教育の一環として非常食（救給カレー）を取り入れた給食の提供を行った。</p>		H29 年度	H30 年度	R 元年度	R2 年度	R3 年度	品目数	7	9	10	11	10	使用数量	2,384 kg	1,886 kg	2,388 kg	1,919 kg	3,559 kg		H29 年度	H30 年度	R 元年度	R2 年度	R3 年度	実施回数	58 回	54 回	48 回	57 回	56 回
	H29 年度	H30 年度	R 元年度	R2 年度	R3 年度																										
品目数	7	9	10	11	10																										
使用数量	2,384 kg	1,886 kg	2,388 kg	1,919 kg	3,559 kg																										
	H29 年度	H30 年度	R 元年度	R2 年度	R3 年度																										
実施回数	58 回	54 回	48 回	57 回	56 回																										

<p>成果・課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・釜石産米の使用量を増やし、地産地消の推進を図ることができた。今後も継続して安定した量を確保し、新たな品目の活用も検討していく。 ・新たなテーマで献立募集を行い、応募数の増加を図る。 ・残量調査の結果から、児童生徒の嗜好を考慮しながら調理方法や味付け等をさらに検討していく。 		
<p>評価</p>	<p>B</p>	<p>事業の継続性</p>	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（現状維持・拡充）

基本施策2
実施施策

子どもを育む環境づくり

(2) 教育環境の充実とさらなる向上

事業名	釜石高等学校定時制教育振興会運営補助金	令和3年度 決算額	90,000円
担当課	教育委員会事務局総務課		
目的	岩手県立釜石高等学校定時制教育の振興を図るもの。		
内容	岩手県立釜石高等学校定時制教育振興会が行う教育振興事業に要する経費に対して、補助金を交付した。		
成果・課題	同校定時制教育の普及並びに生徒の福祉の充実が図られ、修学環境の向上が図られた。 同教育振興会の事業内容、決算状況を精査し、事業の実施に必要な範囲で補助を検討していく。		
評価	B	事業の継続性	<input type="checkbox"/> 廃止 <input checked="" type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 継続（現状維持・拡充）

事業名	奨学資金貸付金	令和3年度 決算額	6,411,000円
担当課	教育委員会事務局総務課		
目的	優秀な学生であって、経済的事由により修学の困難な者に対して、学費の貸与を行うことにより修学の機会を与え、有用な人材の育成を図るもの。		
内容	奨学生に対し学費の貸与を行った。また、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、経済状況が変化した家庭もあるため、奨学生の追加募集（随時）及び奨学金の返還猶予を行った。 貸与月額 ・ 高等学校 16,000円以内 ・ 大学等 45,000円以内 （短期大学、専門学校及び大学院も含む）		

	【奨学金の貸付者数】					
	年 度	H29	H30	R1	R2	R3
	奨学金の貸付者数	17	14	20	20	14
	【奨学金の追加募集（随時）及び奨学金の返還猶予者数】					
	年 度	H29	H30	R1	R2	R3
	追加募集者数	1	0	0	0	0
	返還猶予者数	2	2	0	1	1
	※H29～R1の追加募集者数は秋季募集者の人数、R2及びR3の返還猶予は新型コロナウイルス感染症の影響に伴う収入減によるもの					
成果・課題	奨学生が奨学金制度を利用することで、金銭面での負担の軽減が図られ、学業に集中し有意義な学校生活を送ることが可能となり、有用な人材の育成につながっている。今後も類似制度の動向や利用希望者のニーズを把握し、育英会事業の健全な運営に努める。					
評 価	B	事業の継続性	<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（現状維持・拡充）			

事業名	学校空調整備事業	令和3年度 決算額	2,365,000 円
担当課	教育委員会事務局総務課		
目 的	児童生徒の教育環境改善のため、市内小中学校の普通教室等に空調設備を設置するもの。		
内 容	釜石小学校及び唐丹小学校に空調設備を設置した。 【設置台数】 ・釜石小学校：2台（こどぼの教室） ・唐丹小学校：1台（普通教室）		
成果・課題	空調設備の設置により夏季における熱中症対策が図られた。 教育環境の改善により、児童生徒の学習意欲の向上が見込まれることから、今後予定している特別教室等への設置についても、維持管理費及び利用頻度等を勘案した上で検討していく。		

評価	B	事業の継続性	<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（現状維持・拡充）
----	----------	--------	--

事業名	学校環境整備事業	令和3年度 決算額	633,600円
担当課	教育委員会事務局総務課		
目的	老朽化した学校施設の長寿命化を計画的に進め、児童生徒の安全を確保し、教育環境の維持・向上を図るもの。		
内容	雨漏りが発生した釜石中学校校舎の改修修繕を実施した。 【施工箇所】 ・2階バルコニー ・2階特別支援学級 ・4階エレベーターホール		
成果・課題	学校施設の適切な維持管理を行うことにより、良好な教育環境の整備に努めた。 随時発生する学校施設の不具合等には可能な限り修繕対応しているものの、施設の老朽化が進んでおり、今後も計画的に改修を進めていく必要がある。		
評価	B	事業の継続性	<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（現状維持・拡充）

事業名	教育研究事業	令和3年度 決算額	632,526円
担当課	教育委員会事務局学校教育課		
目的	円滑な学校運営の推進と教育活動の充実・向上のため、幼稚園及び小中学校における学校課題の解決を図るもの。		

内 容	<p>市内教育団体（釜石市小中学校長会等）に対し教育研究業務を委託し、各種課題の解決に向けた取組みを行った。</p> <p>公開校（平田小、釜石中）及び指定校（栗林小、甲子中）を設け、学校ごとに課題を明らかにし、テーマに沿った教育研究を進めた。</p>		
成果・課題	<p>学校公開により、授業実践を日頃から積み重ねることで校内研究の充実を図り、市内教職員に共有し、意識を高めることができた。コロナ禍での研究会、打合せ手段として teams 等のツールを新たに活用することができた。</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響により規模を縮小（学校公開については釜石市と大槌町に限定、教育研究業務も校長会の視察の中止等）しており、通常規模での開催には検討が必要である。</p>		
評 価	B	事業の継続性	<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（現状維持・拡充）

事業名	教育用コンピュータ管理経費	令和 3 年度 決算額	22,726,272 円
担当課	教育委員会事務局学校教育課		
目 的	市内小中学校及び教育委員会事務局にて使用している PC 等の適切な維持管理を行うもの。		
内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・ コンピュータ機器等の保守管理業務委託 (内訳) <li style="padding-left: 20px;">校務用サーバ 13 台 <li style="padding-left: 20px;">校務用ノートパソコン 297 台 <li style="padding-left: 20px;">教育用コンピュータ（パソコン教室）424 台 <li style="padding-left: 20px;">大型提示装置 118 台 <li style="padding-left: 20px;">教員用タブレット端末 194 台 <li style="padding-left: 20px;">児童用タブレット端末 1,948 台 <li style="padding-left: 20px;">その他、周辺機器、統合型校務支援システム等保守 ・ 市内小中学校の職員室プリンターの使用料 ・ インターネット使用料 <p>なお、GIGA スクール構想による児童生徒 1 人 1 台端末の整備に伴う通信量の増加に耐えられるよう、各小中学校にローカルブレイクアウト構成の教育用ネットワークを新設した。</p>		

成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・業務委託先の業者と連携の上、市内小中学校の ICT 機器等のトラブルに迅速に対応した。 ・ネットワークの増強により、児童生徒 1 人 1 台端末の通信におけるボトルネックを未然に防いだが、ネットワーク障害が未だ稀に発生していることから、継続して改善を図る。 		
評価	B	事業の継続性	<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（現状維持・拡充）

事業名	学校生活管理指導表作成料補助事業	令和 3 年度 決算額	26,000 円
担当課	教育委員会学校教育課		
目的	学校生活管理指導表の作成料を補助するもの。		
内容	<p>小中学生のアレルギー疾患に対応するため、学校生活管理指導表を提出した保護者のうち、就学援助対象世帯及び特別支援就学奨励費対象世帯で申請のあった者に対し、保護者の経済的負担軽減のため、作成料相当額を補助した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・申請者数 9 名（対象者数 19 名） 		
成果・課題	<p>第六次釜石市総合計画に掲げる「子どもを育む環境づくり」と結びつく事業となり、保護者の経済的な負担の軽減が図られた。</p> <p>未申請となっている世帯に対し、各学校とも連携して制度を再周知の上、適切な支援を行っていく必要がある。</p> <p>令和 4 年度から学校生活管理指導表作成料が保険適用となり、保護者の負担が軽減されたため、事業内容を検討する必要がある。</p>		
評価	B	事業の継続性	<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（現状維持・拡充）

事業名	教育研究所運営費	令和3年度 決算額	591,597円
担当課	教育委員会事務局学校教育課		
目的	<p>幼稚園・保育園・こども園・小中学校の教育実践に資する活動を計画し運営するもの。</p> <p>教育課題やこれからの学校教育に求められる内容等について、研究・研修・相談活動を行うことにより、学校教育における教育成果の向上に寄与するもの。</p>		
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・教育研究所各研究班による課題研究 「こころの教育研究班」「授業づくり研究班」 ・教育研究所研究発表大会（1/6） ・心身の不安や悩み、登校への不安等を抱える児童・生徒の援助及び指導のため、適応指導教室（若葉教室）を運営した。 ・児童・生徒の保護者からの悩みや相談を受け、適切な支援を行った。 		
成果・課題	<p>研究班・推進委員会において、研究計画に基づき研究・研修を行い、研究発表大会を通じて研究の成果及び課題等を全教職員で共有した。</p> <p>不登校等の児童生徒数と比較して、適応指導教室に通室している人数が少ない。</p>		
評価	B	事業の継続性	<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（現状維持・拡充）

事業名	特別支援教育支援員配置事業	令和3年度 決算額	37,369,701円
担当課	教育委員会事務局学校教育課		
目的	<p>様々な障がいのある児童生徒への学校生活上の介助や学習活動上の支援を行う支援員を配置し、当該児童生徒の学校生活の充実を図るもの。</p>		
内容	<p>各学校に特別支援教育支援員を配置し、支援を必要としている児童生徒に対し適切な支援を行った。</p> <p>配置校：釜石小、双葉小、白山小、平田小、小佐野小、甲子小、鶴住居小、唐丹小、釜石中、甲子中、大平中 計19名</p>		

成果・課題	<p>障がいのある児童生徒に対し、学校での学習活動の支援を行うことができた。</p> <p>障がいのある児童生徒は増加傾向にあるため、現在の支援員の人数では全ての学校をサポートできない。</p>		
評価	B	事業の継続性	<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（現状維持・拡充）

事業名	こころのケア事業	令和3年度 決算額	3,486,024 円
担当課	教育委員会事務局学校教育課		
目的	<p>子どもたちやその保護者、教職員の震災によるストレス障害などを早期に把握し、教育現場におけるきめ細やかなケアに対応するもの。</p>		
内容	<p>スクールカウンセラー（臨床心理士：県派遣2名）が各小・中学校を巡回しカウンセリングを実施した。</p> <p>小学校：児童900回 保護者98回 中学校：生徒1,059回 保護者52回</p> <ul style="list-style-type: none"> 定期的な児童生徒、保護者、教職員との面談 スクールカウンセラーによる校内研修会での講義、サポート授業でのチームティーチング 保護者、教職員へ、気になる児童生徒への対応について、日常における支援についてのアドバイス スクールソーシャルワーカーや関係機関へつなげるきっかけ作り 		
成果・課題	<p>スクールカウンセラーの面談を通して、児童生徒や保護者、教職員に対する心のケアやサポートすることができた。定期的な面談の他に緊急を要する面談にも対応することができた。</p> <p>面談を希望する児童生徒・保護者が多く、日程や時間の調整に苦慮する場面もある。今後も面談希望者数が増加することが予想される。スクールカウンセラーが増員されることでより適切な対応が可能と考えられる。</p>		
評価	B	事業の継続性	<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（現状維持・拡充）

事業名	教育用コンピュータ等整備事業	令和3年度 決算額	30,565,260円
担当課	教育委員会事務局学校教育課		
目的	市内小中学校及び教育委員会事務局にて使用しているPC等を適切に更新し、教育環境の維持向上を図るもの。		
内容	<p>パソコン等を使用した学習及び校務に必要な機器等を整備し、必要経費を支出した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ウイルス対策ソフトライセンス費用 ・教育用コンピュータ（パソコン教室）等賃借料 ・統合型校務支援システム賃借料 ・校務用コンピュータ等賃借料 		
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・更新時期を迎えた釜石中、甲子中、大平中の校務用コンピュータを更新し業務に必要な環境を維持した。 ・GIGAスクール構想により児童生徒に1人1台のタブレット端末が整備されたことから、従来のパソコン教室の活用について、廃止を含めて使用方針を検討する必要がある。 		
評価	B	事業の継続性	<input type="checkbox"/> 廃止 <input checked="" type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 継続（現状維持・拡充）

事業名	スクールバス運行事業	令和3年度 決算額	38,691,110円																								
担当課	学校教育課																										
目的	遠距離通学の児童生徒の通学手段を確保するためスクールバス及びタクシーを運行するもの。																										
内容	<p>【スクールバス利用児童生徒数】</p> <p><小学校> 138人</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>学校名</th> <th>児童数</th> <th>学校名</th> <th>児童数</th> <th>学校名</th> <th>児童数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>釜石小</td> <td>1人</td> <td>平田小</td> <td>6人</td> <td>鵜住居小</td> <td>46人</td> </tr> <tr> <td>双葉小</td> <td>0人</td> <td>小佐野小</td> <td>1人</td> <td>栗林小</td> <td>12人</td> </tr> <tr> <td>白山小</td> <td>0人</td> <td>甲子小</td> <td>52人</td> <td>唐丹小</td> <td>20人</td> </tr> </tbody> </table>			学校名	児童数	学校名	児童数	学校名	児童数	釜石小	1人	平田小	6人	鵜住居小	46人	双葉小	0人	小佐野小	1人	栗林小	12人	白山小	0人	甲子小	52人	唐丹小	20人
学校名	児童数	学校名	児童数	学校名	児童数																						
釜石小	1人	平田小	6人	鵜住居小	46人																						
双葉小	0人	小佐野小	1人	栗林小	12人																						
白山小	0人	甲子小	52人	唐丹小	20人																						

<中学校> 54人

学校名	生徒数	学校名	生徒数	学校名	生徒数
釜石中	1人	釜石東中	34人	大平中	5人
甲子中	12人	唐丹中	2人	—	—

【運行状況】

配備場所	配備台数	車種	備考
平田小	1台	マイクロバス	平田小、大平中
鵜住居小	1台	中型バス	鵜住居小、釜石東中
	1台	マイクロバス	鵜住居小、釜石東中
栗林小	1台	マイクロバス	栗林小
唐丹小	1台	マイクロバス	唐丹小、唐丹中
	1台	ワゴン車	唐丹小、唐丹中
甲子中	1台	中型バス	甲子小、甲子中
釜石中	1台	マイクロバス	甲子小、甲子中、釜石小、釜石中
釜石東中	1台	中型バス	鵜住居小、釜石東中
	1台	マイクロバス	鵜住居小、釜石東中
学校教育課	1台	中型バス	車検等の代替バス
合計	11台		

【スクールタクシー利用児童生徒数等】

小学校： 2名

(釜石小学校 1名:新浜町地区、小佐野小学校 1名:上小川地区)

中学校： 2名

(釜石中学校 1名:新浜町地区、釜石東中学校 1名:外山地区)

成果・課題

遠距離通学の児童生徒の通学手段を確保することができた。

評価

B

事業の継続性

- 廃止
- 縮小して継続
- 改善して継続
- 継続（現状維持・拡充）

事業名	学校図書館図書購入費	令和3年度 決算額	小：2,016,462円 中：1,618,678円																																				
担当課	教育委員会事務局学校教育課																																						
目的	児童生徒の読書環境の推進に向けて、小中学校の図書整備を計画的に進め、教育環境の充実を図るもの。																																						
内容	<p>国が示す学校図書標準に基づき各小中学校の図書館図書を購入した。</p> <table border="1"> <tr> <td>釜石小学校</td> <td>130冊</td> <td>釜石中学校</td> <td>326冊</td> </tr> <tr> <td>双葉小学校</td> <td>166冊</td> <td>甲子中学校</td> <td>109冊</td> </tr> <tr> <td>白山小学校</td> <td>83冊</td> <td>釜石東中学校</td> <td>247冊</td> </tr> <tr> <td>平田小学校</td> <td>107冊</td> <td>唐丹中学校</td> <td>116冊</td> </tr> <tr> <td>小佐野小学校</td> <td>126冊</td> <td>大平中学校</td> <td>87冊</td> </tr> <tr> <td>甲子小学校</td> <td>270冊</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>鶴住居小学校</td> <td>78冊</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>栗林小学校</td> <td>83冊</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>唐丹小学校</td> <td>52冊</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			釜石小学校	130冊	釜石中学校	326冊	双葉小学校	166冊	甲子中学校	109冊	白山小学校	83冊	釜石東中学校	247冊	平田小学校	107冊	唐丹中学校	116冊	小佐野小学校	126冊	大平中学校	87冊	甲子小学校	270冊			鶴住居小学校	78冊			栗林小学校	83冊			唐丹小学校	52冊		
釜石小学校	130冊	釜石中学校	326冊																																				
双葉小学校	166冊	甲子中学校	109冊																																				
白山小学校	83冊	釜石東中学校	247冊																																				
平田小学校	107冊	唐丹中学校	116冊																																				
小佐野小学校	126冊	大平中学校	87冊																																				
甲子小学校	270冊																																						
鶴住居小学校	78冊																																						
栗林小学校	83冊																																						
唐丹小学校	52冊																																						
成果・課題	読書に親しむ教育環境の充実が図られた。																																						
評価	B	事業の継続性	<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（現状維持・拡充）																																				

事業名	教材備品等管理費	令和3年度 決算額	小：5,742,034円 中：5,944,383円
担当課	教育委員会事務局学校教育課		
目的	教材備品の整備を計画的に進め、教育環境の充実を図るもの。		

内 容	<p>市内小中学校に対し購入希望調査を実施し、各学校で必要としている教材備品を購入・整備した。</p> <p>また大型備品として、双葉小学校及び甲子中学校にグランドピアノを整備した。</p> <p>○各学校に整備した主な教材備品</p>	
	学校名	整備した主な教材備品
	釜石小学校	カラー跳び箱、配列訓練カードセット、 土地被覆タイプ地球儀、ストップウォッチ
	双葉小学校	かんたんてんと、デジタルカメラ、糸のこ台、 ジャノメミシン、
	白山小学校	冷蔵庫、デジタルカメラ、ソフトハードル、 デジタル騒音計、
	平田小学校	コンピュータミシン、入門用跳び箱、立体展開説明器 体積基本単位説明器
	小佐野小学校	抗菌ノンスリップマット、ローマ字短冊黒板 オーケストラの楽器の編成パネル、
	甲子小学校	サッカーネット、だんの九九マグネットシート、 絵画作品乾燥棚、屋内用ティーボールセット
	鵜住居小学校	地層のでき方実験器、システムストップウォッチ、 ローマ字短冊黒板、演奏記号ディスプレイボード
	栗林小学校	プログラミングスイッチ、特別支援の国語教材、 大玉用ポンプ、プログラミングスイッチ
	唐丹小学校	デジタルピアノ、花形おはじき、デジタルスケール、 物の重さ比較セット、フレキシブルハードル
	釜石中学校	フレキハードル、バレーアンテナ、ミニコンポ、 電気冷凍冷蔵庫
	甲子中学校	英語教材（フラッシュカード、ピクチャーチャート）、 バレーボールネット、地球儀
	釜石東中学校	日本全図、中学生の音楽鑑賞 DVD、 コンパクトパーテーション、赤ちゃん人形
	唐丹中学校	運搬整理箱ワゴン、お琴保管棚、 平行連結式スターティングブロック、
大平中学校	箏、ティンパニヘッド、版画プレス台セット、 アルミワンタッチテント、	

<p>成果・課題</p>	<p>購入希望調査に沿った教材備品を購入することにより、教育環境の充実が図られた。</p> <p>反面、学校が希望する教材備品が予算額を超えてしまう場合もあり、各学校の状況に応じて予算の増額を検討する必要がある。</p> <p>また、大型備品（特にピアノ、吹奏楽部の楽器類）の予算は別枠で確保していく必要がある。</p>		
<p>評価</p>	<p>B</p>	<p>事業の継続性</p>	<p><input type="checkbox"/> 廃止</p> <p><input type="checkbox"/> 縮小して継続</p> <p><input type="checkbox"/> 改善して継続</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 継続（現状維持・拡充）</p>

基本施策 3
実施施策

生涯学習・スポーツの振興

(1) 学びと実践が循環しつながりを出する生涯学習社会の形成

事業名	釜石市成人のつどい開催事業	令和3年度 決算額	743,732 円
担当課	まちづくり課		
目的	成人の日を記念し、新成人の門出を祝うとともに、市民及び市に縁のある者としての自覚を促し、社会人としての権利と義務・責任を全うできるよう激励の意味を込めて式典を開催するもの。		
内容	<p>新成人を主体とした実行委員会形式により、特色のある成人式を新成人自らの手で創り上げ、新成人の門出を祝い式典を開催した。</p> <p>〔時期〕 令和4年1月9日（日）14時～15時30分</p> <p>〔場所〕 釜石市民ホール TETTO</p> <p>〔対象〕 平成13年4月2日から令和14年4月1日までに生まれた者</p> <p>〔参加者数〕 394人（新成人228人、一般来場者105人、主催者7人、来賓24人、従事者30人）</p> <p>※今回から実行委員会を組織して開催。実行委員が主体となってビデオメッセージ、恩師ビデオメッセージを制作した</p> <p>※新成人による郷土芸能披露や震災後初となる市民憲章・防災市民憲章の唱和を行った</p> <p>※釜石商工会議所青年部の協力を得て、フォトスポットを2カ所に設置した</p> <p>※コロナ禍の開催ではあったものの、会場内での感染症対策を徹底し、2年ぶりに参集による開催とした</p>		
成果・課題	令和4年4月1日から成年年齢が18歳になることから、令和3年度内に市内高校生及び保護者を対象としてアンケートを実施した。その結果から、令和4年度以降も20歳を対象として式典を開催していくが、今後も引き続き円滑な式典運営を心掛けながら、毎年組織する実行委員会と共に式典内容等の検討を行っていく。		
評価	A	事業の継続性	<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（現状維持・拡充）

事業名	生涯学習によるまちづくり推進事業 ※管理事務費の一部を含む	令和3年度 決算額	418,173円 管理事務費分 (別掲) 319,497円
担当課	まちづくり課		
目的	市民と行政が共に釜石市の現状と課題、施策などを理解するとともに、主体的にまちづくりへの参画を促進するための意識の喚起、場を創出することが必要になることから、生涯学習に関する諸事業を実施するもの。		
内容	<p>① 第3次釜石市生涯学習推進計画の策定 (※管理事務費)</p> <p>第2次釜石市生涯学習推進計画の見直しを行い、生涯学習の推進によるまちづくりの指針となる計画を策定する。</p> <p>[計画の期間] 令和4年度～13年度</p> <p>[策定の手順]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民を対象とした生涯学習基礎調査(アンケート調査)の実施 ・現状・関心などの市民ニーズの把握 ・これまでの施策の現状と課題と今後の方向性の把握 ・基本方針及び基本目標の設定 <p>当初は令和3年度中に策定する予定であったが、関係部署との調整に時間を要したため、令和3年度中に策定できなかった。令和4年度中に策定する。</p> <p>② こどもエコクラブ (※管理事務費)</p> <p>自然の中でさまざまな体験を通じて、自然環境への理解を深め、環境保全に配慮した行動をとることができる資質を育むことを目的に、小学生を対象に実施した。</p> <p>[登録会員数] 小学生30人</p> <p>[内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・7.2(金) / ホテル観察会(雨天中止) ・8.7(土) / 海辺の磯遊び / 平田(杉の浜) / 小学生22人 ・11.7(日) / 海の生き物調べ! / 岩手大学釜石キャンパス / 小学生19人 ・12.18(土) / かまいしバードウォッチング / 片岸公園周辺 / 小学生19人 ・冬の星空観察会(新型コロナウイルス感染症の影響により中止) <p>③ 岩手大学生涯学習講座</p> <p>「いわて生涯学習士育成講座」のカリキュラムの一つである「生涯学習基礎コース」について、当市を会場にオンラインで開催した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・10.6(水) / 岩手大学釜石キャンパス / 9人 <p>④ 立正大学デリバリーカレッジ</p> <p>市民が生涯学習に関心を持ち実践するきっかけとなるよう「知的刺激と感動を得られる生涯学習」の機会を提供する予定だったが、新型コロナウ</p>		

	<p>イルス感染症の影響により中止した。</p> <p>⑤ 生涯学習まちづくり出前講座 生涯学習意識の高揚と学習機会の提供を図り、地域課題とその解決について考えることを目的として実施した。</p> <p>＜講座メニュー＞ 169 講座（市によるもの 71 講座、関係機関によるもの 23 団体 98 講座）</p> <p>＜実施回数及び受講者数＞</p> <table border="1" data-bbox="475 571 1332 728"> <thead> <tr> <th>29 年度</th> <th>30 年度</th> <th>元年度</th> <th>2 年度</th> <th>3 年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>56 回</td> <td>54 回</td> <td>55 回</td> <td>37 回</td> <td>44 回</td> </tr> <tr> <td>1,607 人</td> <td>1,118 人</td> <td>1,349 人</td> <td>629 人</td> <td>674 人</td> </tr> </tbody> </table> <p>⑥ 生涯学習情報誌「まなびい釜石」の発行 生涯学習に関する情報を周知するため「広報かまいし」内に「まなびい釜石」のページを設け、年 5 回発行した。</p>	29 年度	30 年度	元年度	2 年度	3 年度	56 回	54 回	55 回	37 回	44 回	1,607 人	1,118 人	1,349 人	629 人	674 人
29 年度	30 年度	元年度	2 年度	3 年度												
56 回	54 回	55 回	37 回	44 回												
1,607 人	1,118 人	1,349 人	629 人	674 人												
<p>成果・課題</p>	<p>① 第 3 次釜石市生涯学習推進計画の策定（※管理事務費） 計画策定に向けたアンケート調査を実施し、その結果の一部を生涯学習情報誌「まなびい釜石」に掲載して市民に紹介した。また、現在も関係部署と調整中であり、令和 4 年度中の策定を目指す。</p> <p>② こどもエコクラブ（※管理事務費） 参加者及び保護者からアンケートを取った結果、子どもたちの環境に対する興味関心の向上につながったことが読み取れた。今後も子どもたちが関心、興味を持てるような内容を継続して実施する。</p> <p>③ 岩手大学生涯学習講座 岩手大学と連携し、生涯学習の基礎を学ぶ講座をオンラインで開催した。この講座に参加したいと思う人を増やすための下地作りが課題となっている。また、機材のトラブルがあり、聞きづらい講座となってしまったことから、主催者側の情報通信技術のスキルを高めることが必要である。</p> <p>④ 立正大学デリバリーカレッジ これまでは講師を直接釜石に招いて講座を実施していたが、オンラインでの開催も視野に入れ、市民の学びの機会の提供に努める。</p> <p>⑤ 生涯学習まちづくり出前講座 令和 2 年度、3 年度とコロナ禍前と比較して実施回数は減少している。講座メニューについては毎年度見直しを行い充実に努めているが、利用促進のための周知、広報活動を継続する必要がある。</p> <p>⑥ 生涯学習情報誌「まなびい釜石」の発行 「広報かまいし」内にページを確保することにより、全世帯への情報提供が可能となっており、継続して実施する。また、事業情報については、公民館だよりや市のホームページを中心に周知する。</p>															

評価	C	事業の継続性	<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 継続（現状維持・拡充）
----	---	--------	--

事業名	釜石市教育振興運動協議会活動補助金	令和3年度 決算額	199,598 円
担当課	まちづくり課		
目的	地域の教育力向上と、子どもたちの生涯にわたって学び続ける意欲・態度を育成し、併せて大人自らの生涯学習機会となる教育振興運動の推進のため、釜石市教育振興運動協議会が行う事業に要する経費に対して補助金を交付するもの。		
内容	<p>各実践区（中学校区）において、5 者（子ども、保護者、学校、地域、行政）がそれぞれの役割を果たしながら相互に連携して行う地域の教育課題の解決に取り組む活動を支援し、地域の教育力向上を図るため、情報提供や情報交換、実践活動への補助等を行った。</p> <p>〔活動内容〕協議会総会（書面表決）、各実践区による活動、教振だよりの発行など 〔研修等〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「地域学校協働活動・教育振興運動」市町村担当者研修会 6.1（火）／県立生涯学習推進センター／釜石市から 1 人 ・地域とともにある学校づくり推進フォーラム 7.6（火）／大船渡市立三陸公民館／釜石市から 19 人 <p>※釜石市教育振興運動協議会集約集会は新型コロナウイルス感染症の影響により資料送付による開催とした</p>		
成果・課題	<p>新型コロナウイルス感染症の影響により総会や集約集会を参集して実施することはできなかったものの、感染症対策を徹底しながら、全ての各実践区において全県共通課題「情報メディアとの上手な付き合い方」に取り組んだほか、交通安全や防災、読書活動、地域学習など多様な活動を行うことができた。</p> <p>学校運営協議会や地域学校協働活動と連携しながら、今後も引き続き 5 者が連携して取り組みを進めていく必要がある。</p>		
評価	B	事業の継続性	<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 継続（現状維持・拡充）

事業名	放課後子ども教室推進事業	令和3年度 決算額	1,933,724 円
担当課	まちづくり課		
目的	子どもたちが安心して遊び学ぶことのできる教育環境を確保するため、放課後における子どもの活動拠点を設け、地域住民等の参画を得て、自由遊びの見守りのほか、多様な学習機会を提供するもの。		
内容	<p>〔時期〕 通年 〔対象〕 子ども、地域住民 〔教室名/場所/実施日〕</p> <p>① ばしょまえ交流館/カトリック釜石教会/週2回(釜石小学校区) ② 小佐野放課後ひろば/小佐野公民館/隔週1回(小佐野小学校区) ③ 平田 MOSICA/平田復興住宅集会室/週1回(平田小学校区) ④ かつしっこひろば/甲子公民館/週1回(甲子小学校区) ⑤ 鶴住居子どもひろば/長内集会所、砂子畑集会所等/週3回(鶴住居・栗林小学校区)</p> <p>〔1回あたりの子どもの参加人数〕 約9.0人</p>		
成果・課題	<p>新型コロナウイルス感染症の影響により、放課後子ども教室1回当たりの子どもの参加人数は昨年度よりも減少したものの、協働活動支援員の各校への周知等により、放課後子ども教室への理解浸透が図られている。</p> <p>一方で子どもの活動の見守りや学習サポートを行う協働活動サポーター(安全管理員)の減少に伴い、実施回数が減少したり、実施を見送った教室もある。様々な機会を活用し、放課後子ども教室の実施を周知するとともに、安全管理員の募集を行うことにより、活動のさらなる展開を図りたい。</p>		
評価	B	事業の継続性	<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 継続(現状維持・拡充)

事業名	地域学校協働活動体制推進事業	令和3年度 決算額	3,730,553 円
担当課	まちづくり課		
目的	地域と学校が連携・協働し、地域全体で未来を担う子どもの成長を支えていく地域学校協働活動の推進体制(地域学校協働本部)を設置し、地域コーディネーター配置のもと、地域住民等の参画を得ながら、学校支援活動をはじめとする様々な地域学校協働活動を行うもの。		

内 容	<p>[本部設置校] 釜石小学校、栗林小学校、鶴住居小学校、白山小学校、甲子小学校</p> <p>[活動回数] 5校 701回</p> <p>[地域住民等の参画人数] 5校 延べ約6,000人</p> <p>[運営協議会] 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、書面開催または中止</p> <p>[研修等]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「地域学校協働活動・教育振興運動」市町村担当者研修会 6.1(火) / 県立生涯学習推進センター / 釜石市から1人 ・地域とともにある学校づくり推進フォーラム / 7.6(火) / 大船渡市立三陸公民館 / 釜石市から3人 ・学校と地域の連携・協働研修会 / 8.6(金) / 県立生涯学習推進センター / 釜石市から2人 ・地域とともにある学校づくり推進フォーラム / 11.19(金) / 石巻市(マルホンまきあーとテラス) / 釜石市から3人 		
成果・課題	<p>新型コロナウイルス感染症の影響により、例年よりも活動参画者が減少したが、感染症対策を徹底しながら、地域コーディネーターの連絡調整等によって、各本部で子どもたちに多様な学習機会を提供することができた。令和4年度に市内全小中学校に学校運営協議会が設置されることから、地域学校協働活動のさらなる推進を図りたい。</p>		
評 価	B	事業の継続性	<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 継続(現状維持・拡充)

事業名	図書館管理運営費	令和3年度 決算額	16,657,857円
担当課	まちづくり課図書館		
目 的	<p>市民の生涯学習を支え、読書活動の振興を図ることを目的に、適正な図書資料の整備や各種の図書館サービスの提供に努めるほか、図書館施設の適切な維持管理を行うもの。</p>		

内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・釜石市立図書館協議会を年2回（5月・2月）開催した。 ・利用者の要望や地域の実情に考慮しながら、図書資料の整備に努めた。 ・利用者の学習活動を支援するため、企画展・巡回展（29回）を開催した。 ・としょかん映画会（12回）や、おはなし広場（10回）を開催した。 ・手づくり絵本教室の開催（2回）や、図書館報の発行（16回）を行った。 ・図書館こどもまつり（7月）や、図書館クリスマス会（12月）を開催した。 ・移動図書館車の円滑な運行に努めた。（市内51箇所） ・絵本カーによる訪問（105回）や、市内小学校への団体貸出を実施した。 ・新型コロナウイルス感染症予防対策の徹底を図った。 		
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・生涯学習拠点として、図書館のポテンシャルが向上し、多様な利用者や地域社会からのニーズに適切に対応することができた。 ・令和3年度の個人利用者数は令和2年度と比較して増加した。 ・今後も、新型コロナウイルス感染症予防対策の徹底を図る。 		
評 価	B	事業の継続性	<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（現状維持・拡充）

事業名	ブックスタート整備充実事業	令和3年度 決算額	140,805 円
担当課	まちづくり課図書館		
目 的	赤ちゃんと保護者が、絵本を介して向き合い、あたたかくて楽しいことばの交流を持つことができるよう、ブックスタート活動を行うもの。		
内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・健康推進課が行う離乳食指導「もぐもぐごっくん教室」（生後5～6ヵ月児対象）に併せて、ブックスタート事業を実施した。内容は、ブックスタートガイドブックと図書館利用案内の配布を行った後、ボランティア団体「颯・2000」による乳幼児向けの絵本の紹介を兼ねた読み聞かせの実演を行った。（7回、乳児24人） ・健康推進課が行う「6ヵ月児健診」に併せて、ブックスタート事業を実施した。内容は、6ヵ月児健診の赤ちゃんに、絵本1冊を贈呈した。（12回、乳児141人） ・図書館ブックスタートコーナーの書架を整理するとともに、紙芝居コーナーを近くに移設するなど、探しやすく、かつ、過ごしやすい環境づくりを行った。 		

成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・実際に、会場内で読み聞かせを行うことで、読み聞かせそのものに関心を持っていただく機会となっており、参加した保護者には好評である。 ・図書館ブックスタートコーナーを利用する親子連れも多く見られるようになった。 		
評価	B	事業の継続性	<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（現状維持・拡充）

事業名	学校体育施設開放事業	令和3年度 決算額	885,360 円												
担当課	教育委員会事務局総務課														
目的	こどもの安全な遊び場の確保及び社会体育並びに生涯学習の普及を図るため、学校教育に支障のない範囲内で学校の体育施設を開放するもの。														
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・開放校 12校（釜石小学校、双葉小学校、白山小学校、平田小学校、小佐野小学校、甲子小学校、栗林小学校、釜石中学校、甲子中学校、釜石東中学校、唐丹中学校、大平中学校） ・利用団体及び利用人数（延べ人数） <table border="1" style="margin-left: 40px;"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>利用団体数</th> <th>利用者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和3年度</td> <td>743 団体</td> <td>37,103 人</td> </tr> <tr> <td>令和2年度</td> <td>830 団体</td> <td>47,792 人</td> </tr> <tr> <td>令和元年度</td> <td>1,036 団体</td> <td>58,137 人</td> </tr> </tbody> </table>			年 度	利用団体数	利用者数	令和3年度	743 団体	37,103 人	令和2年度	830 団体	47,792 人	令和元年度	1,036 団体	58,137 人
年 度	利用団体数	利用者数													
令和3年度	743 団体	37,103 人													
令和2年度	830 団体	47,792 人													
令和元年度	1,036 団体	58,137 人													
成果・課題	<p>新型コロナウイルス感染拡大による利用制限のある中での事業実施となったものの、開放校との連携・協力により利用団体のスポーツ活動等の場の確保を図ることができた。</p> <p>今後も、感染防止対策を講じつつ、本事業の目的を達成できるよう実施していく。</p> <p>課題としては、利用団体による施設・備品の破損事例が報告されていることから、再発防止の対策を学校と連携して行っていく必要がある。</p>														
評価	B	事業の継続性	<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（現状維持・拡充）												

基本施策 4 歴史・文化・芸術文化の振興

実施施策

(1) 歴史・文化の継承と文化財の普及・啓発の推進

事業名	埋蔵文化財保存事業	令和 3 年度 決算額	6,272,063 円
担当課	文化振興課		
目的	埋蔵文化財の適切な保護・保存・活用に向けた調査を実施するもの。		
内容	平成 13 年度から市内の遺跡の詳細分布調査を継続実施し、平成 20 年度からは市内の遺跡を時代別に分けて分布調査を実施し、遺跡の内容把握に努めている。令和元年度からは、市内各地の縄文時代前期の遺跡の分布調査を実施している。また、調査中に平田塚群が埋没しかけていることが確認された。現在平田塚群周辺で間伐が進んでおり、台風等の影響で、急速に埋没が進む可能性があったため、3D 測量調査を実施し、原状の把握に努めた。		
成果・課題	<p>【成果】 埋蔵文化財の分布調査及び試掘調査は令和 3 年度滞りなく実施し、新規の遺跡を 2 遺跡発見した。また、平田塚群の現況測量を行う、記録保存が完了した。</p> <p>【課題】 近年、風水害の影響で女坂の一里塚や平田塚群などの地上に露出する遺跡の損傷が懸念されるため、保存方法を検討する必要がある。</p>		
評価	B	事業の継続性	<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（現状維持・拡充）

事業名	文化財保護事業	令和 3 年度 決算額	1,443,764 円
担当課	文化振興課		
目的	釜石市に所在する文化財の適正な保護と活用を図るもの。		

内 容	文化財の適正な保護・活用を図るため、釜石市文化財保護審議会を開催するとともに、市内文化財の保存・周知を図るため、説明板の整備等を行った。		
成果・課題	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○釜石市文化財保護審議会の開催 3回 ○説明板の整備 2カ所 小川アーチ橋梁入口看板設置・本郷津波記念碑看板設置 ○石製説明板と句碑の洗浄 2カ所 小川アーチ橋梁石製説明板洗浄・薬師公園入口句碑洗浄 <p>【課題】</p> <p>文化財指定に際し、調査に時間を要する。</p>		
評 価	B	事業の継続性	<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（現状維持・拡充）

事業名	歴史はっけん事業	令和3年度 決算額	3,624,792 円
担当課	文化振興課		
目 的	市内に埋もれた歴史や文化財を発見または再発見し、子どもから大人まで幅広く伝えるとともに、広くまちづくりに活用するため、釜石市文化財保存活用地域計画の策定を目指すもの。		
内 容	<p>令和3年度は市民向けアンケート調査や、市内文化財の調査及び文化財目録の作成、古文書調査（岩手大学地域課題解決プログラムほか）、郷土芸能祭ビデオのデジタル化等を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○市民向けアンケート調査（市民1500人対象・回収率39.8%） ○文化財目録の作成 ○市内文化財の調査 ○古文書調査（野田家文書・三浦家文書） ○郷土芸能祭等ビデオのデジタル化（第1～8回ほか） 		
成果・課題	<p>【成果】</p> <p>市民向けアンケート調査によって、市民が歴史や文化財に求めることを確認することが出来た。</p>		

	<p>【課題】 釜石全域の歴史や文化財の調査を実施するのに相当の時間を要するため、大学や博物館などの研究機関との協力体制を更に強化する必要がある。</p>		
評価	B	事業の継続性	<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（現状維持・拡充）

事業名	鉄づくり体験事業	令和3年度 決算額	1,096,065 円
担当課	文化振興課		
目的	市内小中学生に対して、鉄に関わる歴史や技術を学び、体験を通して郷土への関心を深める補助を行うもの。		
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・鉄づくり体験 ・鉄の歴史館見学(鑄造体験) ・国史跡橋野高炉跡の見学 ・鉄の検定 上記を一貫して実施し、釜石のものづくりの歴史を学ぶ郷土学習を実施した。		
成果・課題	<p>【成果】 鉄に関する郷土学習を実施し、体験をとおして釜石のものづくりの歴史を伝えることが出来た。</p> <p>【課題】 現在、鉄に関する郷土学習を、釜石市内全中学校を対象の総合的な学習の柱として、実施することが求められており、令和4年度以降に徐々に実施体制を整備していく必要がある。</p>		
評価	B	事業の継続性	<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 継続（現状維持・拡充）

事業名	屋形遺跡貝塚保存活用事業	令和3年度 決算額	7,165,243 円
担当課	文化振興課		
目的	国史跡 屋形遺跡を保存活用するもの。		
内容	<p>新型コロナウイルスの影響で予定していた屋形遺跡整備検討委員会委員会を開催できなかった。新年度に改めて開催することとし、今後の保存・活用方法などを検討する。</p> <p>令和元年度から実施していた遺跡の範囲及び保存状態の確認のための範囲内容確認調査(5次調査)を実施し完了した。本報告書を刊行するため、令和3年度出土遺物と昨年までの調査で出土した遺物の一部を図化するため、業務委託を実施した。</p> <p>範囲内容確認調査は現地説明会にて一般公開している。また、地元の唐丹小学校の児童を対象に、今後実施予定の調査予定個所に設定されたトレンチ内の表土を使用し、発掘体験を実施した。</p>		
成果・課題	<p>【成果】 5次調査の内容をまとめ、令和4年3月31日に刊行した。</p> <p>【課題】 屋形遺跡整備検討委員会を開催し、今後の整備計画や保存・活用の方向性を検討する必要がある。</p>		
評価	B	事業の継続性	<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（現状維持・拡充）

基本施策 4
実施施策

歴史・文化・芸術文化の振興

(2) 橋野鉄鉱山の保存・整備・活用と鉄の歴史・文化の発信

事業名	橋野高炉跡整備事業	令和3年度 決算額	29,280,818 円
担当課	世界遺産課		
目的	平成27年に世界遺産登録された「明治日本の産業革命遺産」の構成資産である橋野鉄鉱山の保全と活用を推進するため、平成30年3月に策定した「橋野鉄鉱山の保存・整備・活用に関する計画」に基づき、調査、整備、公開を実施するもの。		
内容	<p>橋野高炉跡史跡整備検討委員会を開催するとともに、「橋野鉄鉱山の保存・整備・活用に関する計画」に基づき測量調査及び発掘調査、石垣微動調査を実施した。</p> <p>《事業内容》</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 会計年度任用職員（発掘作業員、整理作業員） ○ 範囲内容確認調査（三次元測量等による遺構の把握） ○ 橋野高炉跡整備事業委託（石垣微動調査） ○ 山神社鳥居の建替 		
成果・課題	<p>各種調査により、橋野鉄鉱山の内容理解への深化があった。</p> <p>今後も発掘調査や修復事業、整備を進め、橋野鉄鉱山の保護、研究、景観の維持に努める。</p>		
評価	B	事業の継続性	<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（現状維持・拡充）

事業名	旧釜石鉱山事務所活用事業	令和3年度 決算額	2,337,933 円
担当課	世界遺産課		
目的	国登録有形文化財の旧釜石鉱山事務所の適切な管理運営、活用を行うもの。		

<p>内 容</p>	<p>施設の適切な管理運営を行ったほか、イベント等を開催した。</p> <p>≪事業内容≫</p> <p>○鉄の出前講座（釜石中学校、釜石東中学校）</p> <p>○夏休み特別企画「鉱山（やま）の宝探し」（鉱石採集イベント） 岩石の種類を学ぶとともに標本箱を作った。 開催日：7月31日 参加者：30人</p> <p>○鉄の週間企画展、建設70周年記念事業「旧釜石鉱山事務所の70年」 本施設に関する図面やパネル展示を行った。 期間：11月20日～12月6日 期間中入館者：61人</p>													
<p>成果・課題</p>	<p>来館者数が伸び悩んでいることからイベントや広報活動を工夫する。</p> <table border="1" data-bbox="520 748 1283 860"> <thead> <tr> <th>H29年度</th> <th>H30年度</th> <th>R元年度</th> <th>R2年度</th> <th>R3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>849人</td> <td>1,088人</td> <td>867人</td> <td>949人</td> <td>789人</td> </tr> </tbody> </table>				H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	849人	1,088人	867人	949人	789人
H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度										
849人	1,088人	867人	949人	789人										
<p>評 価</p>	<p>B</p>	<p>事業の継続性</p>	<p><input type="checkbox"/> 廃止</p> <p><input type="checkbox"/> 縮小して継続</p> <p><input type="checkbox"/> 改善して継続</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 継続（現状維持・拡充）</p>											

「令和3年度教育委員会の事務の管理及び執行状況に係る点検・評価報告書」 有識者からの意見聴取会意見（要点）

有識者からの意見聴取会を開催し、教育委員会が取りまとめた点検・評価調書に基づき、4つの基本施策、その施策に係る6つの取り組み項目について、自己評価の妥当性及び今後の教育施策の推進に向けて御意見をいただいた。

- 1 開催日時 令和4年8月5日（金）15時00分から17時00分まで
- 2 会場 市役所第4庁舎3階 教育委員会 会議室
- 3 委員 川崎 杏樹さん（いのちをつなぐ未来館（株式会社かまいしDMC））
久保 知久さん（釜石市文化財保護審議会副会長）
鈴木 繁さん（釜石市PTA連合会会長）
鈴木 崇さん（釜石市小中学校長会会長）
八幡 雅子さん（釜石保育会会長）
山口 未来さん（釜石市総合振興審議会委員）

4 意見の聴取方法

- (1) 点検・評価調書を事前に配布し、あらかじめ内容を確認していただき、当日の会議において意見を伺った。
- (2) 妥当性については、「概ね妥当な評価である（概ね自己評価のとおりである）」、「やや妥当でない（やや違っている）」、「全く妥当でない（全く違っている）」のいずれに該当するかという観点からを中心に意見を伺った。

5 意見の概要

基本施策1 未来を担う子どもたちの育成

(1) 生きる力を育む学校教育の充実

妥当性について	概ね妥当な評価である（概ね自己評価のとおりである）
主な意見	<p>○学校文化体育振興会運営事業費補助金 小中学生の各種大会の参加費、合同部活動の交通費等への助成に活用されており、学校、保護者の両者にとって有効な取組で継続していただきたい。 今後は、合同部活動が増加すると思われるので、内容の拡充や柔軟な運用をお願いしたい。 団体競技の他にも、個人での活動にも目を向けて助成するなど、広く保護者の負担を軽減する取組も必要でないか。</p> <p>○ICT支援員配置事業 ICT化が急速に進む中、教職員への負担を懸念していたが、支援員が配置され負担も軽減されているように感じる。 ICT環境に不慣れな教職員もいると思うので、支援員の活用により学校や教員によって活用頻度の格差が生じないように必要な取組を続けて欲しい。</p> <p>○ICT活用教育推進事業 整備されたタブレット端末は、各小中学校で有効に活用されているようだが、更にソフト面や環境の充実を図ってほしい。 不登校生徒に対するタブレット端末を使用したオンライン授業は、とても良い取組だと思う。 ICT環境が苦手な教職員、児童生徒に対する丁寧な対応、学校現場の課題やニーズを取り入れたサポートをお願いしたい。</p> <p>○要保護・準要保護児童生徒援助費 経済的な負担を軽減するもので今後も必要な取組である。</p>

基本施策2 子どもを育む環境づくり

(1)地域づくりに寄与する特色ある教育活動の推進

(2)教育環境の充実とさらなる向上

<p>妥当性について</p>	<p>概ね妥当な評価である（概ね自己評価のとおりである）</p>
<p>主な意見</p>	<p>○教育広報発行事業 子どもが学校を卒業すると学校教育の情報を得る機会が少なくなるため、教育広報の役割は非常に大きいと思うので、今後も読みやすさの向上に努めながら発行を継続していただきたい。</p> <p>○かまいし絆会議運営事業 「かまいし絆会議」は、児童生徒自らが釜石市の未来ことを考える有意義で貴重な会議になっていると感じている。年2回の開催ではあるが、子どもたちのアイデアや発想が実現していくようなやりがいのある会議として、更に発展することを期待する。 とても素晴らしい取組だと思いますので継続させてほしい。 子どもたちが真剣に考える会議となっており、これからの釜石を担う人材育成の場としてもとても価値があると感じている。子どもたちの意見を取組に反映させていく手段が必要ではないか。</p> <p>○「総合的な学習の時間」推進事業・かまいしコミュニティスクール推進事業 コロナ禍で活動が制限されることもありますが取組を継続してほしい。 各地域の特色を生かした活動を期待します。 児童生徒が地域の活動に参加し、郷土芸能に触れる機会にもなっており、今後も地域とつながりをもちながら学校の伝統を継承し、特色ある学びの機会を多く取り入れてほしい。</p> <p>○学校給食センター運営費 家庭での食事や食習慣は年々不安定になっており、学校給食が担う役割は非常に大きいものと感じているので、今後も食に関する指導や献立募集の活動を継続しながら、安心安全な給食の提供をお願いしたい。 釜石産米等の地場産食材の使用はありがたいことで、地産地消の推進に繋げてほしい。 非常食を取り入れた防災給食は、防災教育の一環としても大事になると思うので、取組を継続していただきたい。 県産や釜石産の食材を取り入れながら、栄養バランスの取れた学校給食を提供していただきたい。</p> <p>○学校空調整備事業 空調設備の設置により、快適な学校環境で学習が行われている。特別教室等についても利用頻度を勘案した上で、計画的な設置の検討をお願いしたい。</p> <p>○学校環境整備事業 トイレの洋式化を計画的に進めていただきたい。</p> <p>○特別支援教育支援員配置事業 支援が必要な子どもが増加しており、支援員が担う役割も年々大きくなっている。支援員の増員や配置の見直し、柔軟な対応が必要ではないか。 支援員が不足しているのであれば、より良いサポートのためにも増員を検討していく必要があるのではないか。</p> <p>○こころのケア事業 「こころのケア」には、スクールカウンセラーといった専門職の力が必要であり、今後も人的環境を整え継続してほしい。 子どもたちの将来に関わる大事な事業だと思う。 こころの問題を抱えている子どもたちのためにも、スクールカウンセラーによる面談、カウンセリングの機会を大切にしていきたい。</p>

○スクールバス運行事業
 スクールバス運転手の対応もすばらしく、日頃から安全安心に運行していただき助かっている。

基本施策3 生涯学習・スポーツの振興

(1) 学びと実践が循環しつながりを出する生涯学習社会の形成

妥当性について	概ね妥当な評価である（概ね自己評価のとおりである）
主な意見	<p>○釜石市成人のつどい開催事業 実行委員会形式で開催できたことは良かったが、開催結果を検証し次年度に生かす必要があるのではないかと。 実行委員会形式での開催になるのであれば、参加するだけでなく自分たちで作成し、心に残る成人のつどいになるよう期待する。</p> <p>○生涯学習によるまちづくり推進事業 「こどもエコクラブ」は毎年好評なようなので、参加する子どもたちも自然環境に興味を持ち、SDGSにも結び付くような取組として継続出来れば良いのではないかと。生涯学習においては、メニューづくりも大変になってくると思うが、ニーズを把握しながら取組を続けてほしい。 子どもを対象とした活動では多くの参加者がいる印象だが、大人向けの活動の参加率が低いようなので、参加を促す工夫が必要と感じる。</p> <p>○放課後子ども教室推進事業 共働きの世帯も多い中、子どもたちの放課後の居場所づくりは良い取組であり、子どもたちが地域の大人と触れ合うことも貴重な経験になっているので、今後も続けてほしい。 「放課後子ども教室」の必要性を感じています。サポーターの不足を補うために、地域の大学や地域おこし協力隊等の関係機関の人材を活用していく手段も検討していただきたい。</p> <p>○図書館管理運営費 本離れが著しく、学習、読書の時間も減っているので、読書習慣を形成するための取組を積極的に行い、魅力ある図書館づくりに繋げてほしい。</p> <p>○ブックスタート整備充実事業 赤ちゃんや保護者を対象にした読み聞かせの事業は、素晴らしい取組なので今後も継続していただきたい。 子どもたちが、幼い頃から本に親しみを持つ大事な機会になっており、親に対しても良い影響を与えるものと今後の取組を期待しています。 取組を通して子どもの知能発達、幼児教育の発展に繋がっていくものと感じているので、取組を拡充していただきたい。</p>

基本施策4 歴史・文化・芸術文化の振興

(1) 歴史・文化の継承と文化財の普及・啓発の推進

(2) 橋野鉄鉱山の保存・整備・活用と鉄の歴史・文化の発信

妥当性について	概ね妥当な評価である（概ね自己評価のとおりである）
主な意見	<p>○鉄づくり体験事業 釜石らしい素晴らしい取組なので取組を継続してほしい。 鉄に関する郷土学習を、市内全中学校の総合的な学習の柱とするのは、釜石らしくとても良い取組だと思う。体験を通して学んだことを、地域内外に伝えられる場がもっとあっても良いのではないかと。 鉄の検定は難しい内容と聞いているので、簡単な内容で身近なところから取り組めるものも必要ではないかと。</p>

○屋形遺跡貝塚保存活用事業

発掘体験は埋蔵物に触れられる貴重な機会なので、他の学校の子どもたちが体験できるよう取組の拡充をお願いしたい。

○橋野高炉跡整備事業

橋野鉄鉱山は貴重な世界遺産なので、発掘調査等の必要な取組を更に進めていただきたい。

もっと多くの方々に見学してもらえるような活用方法、情報発信の工夫をお願いしたい。

6 その他（全般を通しての意見） 特になし